

エジプトの小学校で ヤマハ(株)のリコーダーを使った音楽の授業を開始 — 子どもたちにとって初めてのリコーダークラス —

国際協力機構(JICA)とヤマハ株式会社(静岡県浜松市、中田卓也代表執行役社長)が2021年6月よりエジプトで実施している、「初等教育への日本型器楽教育導入案件化調査」におけるパイロット校「エジプト・日本学校(EJS)」において、11月より日本の小学3年生・4年生にあたるグレード3と4の生徒を対象としたリコーダーの授業が始まりました。知識を教えるだけの一方通行の授業運営方法ではなく、社会性、協調性及び規律等の社会的能力の発達を促すために、実際に楽器を演奏して学ぶ「日本式器楽教育」となります。

事前の音楽教員向けリコーダー教授研修に参加したムハンマド先生は、「私にとってリコーダーを学ぶことも演奏することも生徒たちに教えることも全く初めてのことでした。でも、ヤマハの研修のお陰でリコーダーを使った授業ができるようになり本当に感謝しています」と、生徒たちとの音楽の時間を楽しみにしています。また、3年生のアリ君は「リコーダーの音が美しく、鳥の鳴き声に似ていて面白い」とリコーダーを演奏したり音楽を聴いたりしながら授業を楽しんでいます。2022年5月にはクラスコンサート(発表会)が予定されており、生徒は皆わくわくしながら練習に励んでいます。

なお、授業開始前と1年後に生徒へのアンケートを実施することで、ヤマハ(株)の独自教材 Music Time を使用したリコーダー教育が、子どもたちの非認知能力(協調性、自尊心、規律、モチベーションなどソフト面での人的スキル)にどのような影響を与えたかの比較検証を実施予定です。



リコーダー授業の様子 写真提供: EJS 10th of Ramadan 校

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部企業連携課 担当: 松本(案件担当)
 TEL: 052-533-1387 FAX: 052-564-3751
 E-mail: Matsumoto.Yu2@jica.go.jp

日本の真ん中から世界へ
 JICA 中部



<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>